

Tera Probe

株式会社テラプローブ

証券コード:6627

力成集團
PTI GROUP

第16期 株主通信

第16期 定時株主総会決議ご通知

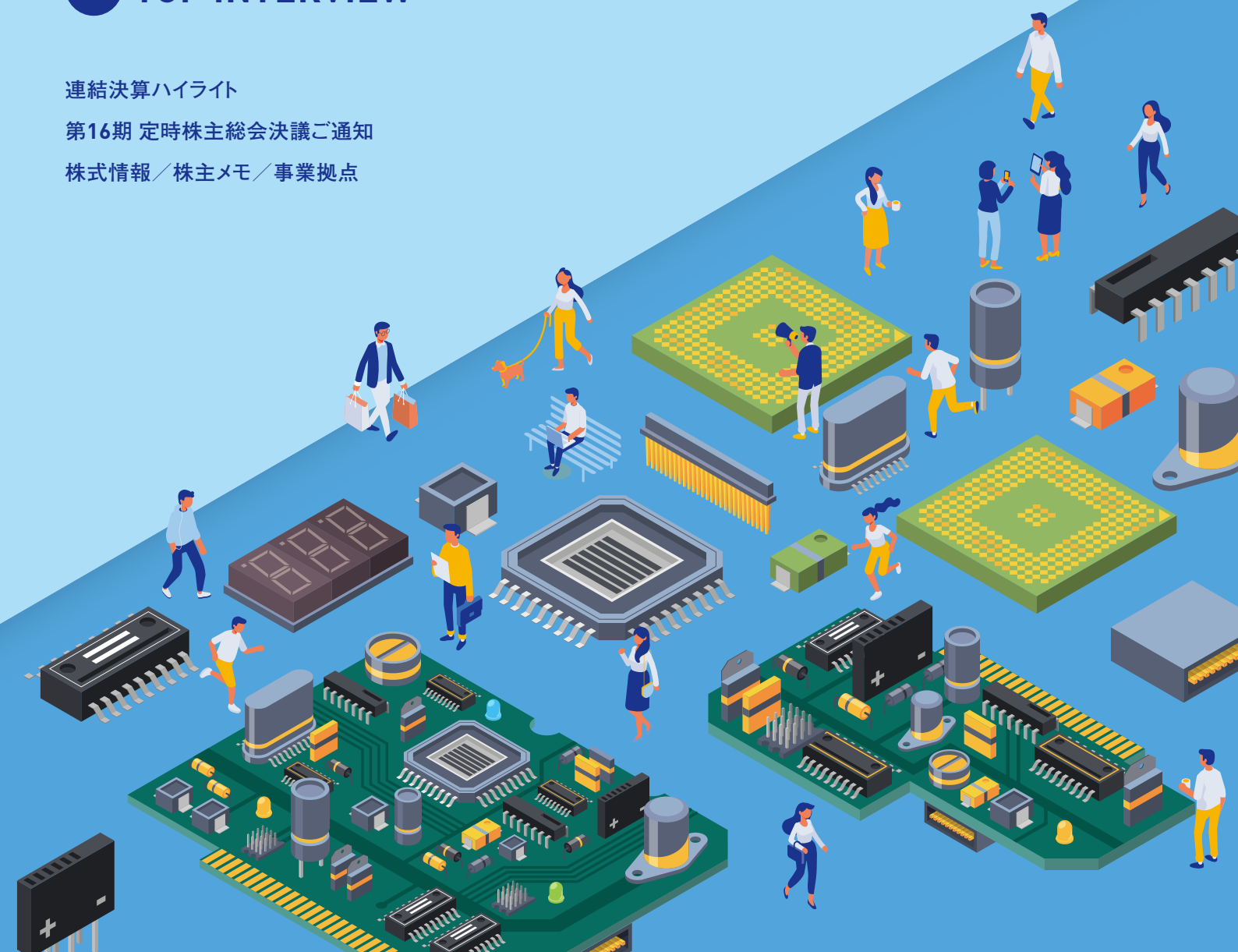
2020年1月1日～2020年12月31日

特集 TOP INTERVIEW

連結決算ハイライト

第16期 定時株主総会決議ご通知

株式情報／株主メモ／事業拠点



TOP INTERVIEW



代表執行役社長

横山 毅

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方の一日でも早いご回復を心からお祈り申し上げます。また、医療や生活インフラを支えてくださっているみなさまに深く感謝いたします。

当社は、昨年12月に上場10周年を迎えることができましたが、上場直後に発生した東日本大震災をはじめ、最近の新型コロナウイルス感染症の流行や主要国間の貿易摩擦に至るまで、多くの困難な状況を経ながらも、事業を継続してこられましたのは、株主のみなさまのご支援があつてのことと、改めてお礼申し上げます。

感染症の流行や貿易摩擦につきましては、いまだ厳しい状況が続いておりますが、従業員等関係者の健康と事業運営上のリスク管理を最優先としつつ、事業構造の改善や競争力を高めるチャレンジの機会ととらえ、お客様や株主のみなさまにとって、より価値のある企業を目指して取り組んでまいります。

VISION

常に、チャレンジ精神と誇りをもってビジネスに取り組み、
技術を磨き、生産の効率化を進め、世界中のお客様が心から満足し
信頼できるパートナーとして、新たな価値創造に貢献する

Q 当期（2020年12月期）は、社長として最初の年でしたが、振り返ってどんな1年でしたか。

A 困難な1年でしたが、手ごたえも感じました。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行によって、誰もが大変な1年であったと思います。また、当社グループが属する半導体業界は、主要国間の貿易摩擦のまだらな影響で生じた需要の変動やサプライチェーンの変更によって大きな影響を受けました。

当社グループも、お客様の急激な生産調整などにより、業績に影響を受けましたが、比較的浅い需要の落ち込みから回復に向かったこと、柔軟で適切な設備投資判断を心がけたこと、及び従業員が一丸となって生産性の向上や継続的な費用削減に取り組んだことなどにより、厳しい状況の中でも黒字を確保することができました。

これは、当社のこれまでの取り組みによって、顧客や受託製品の構成、コスト構造などの点で、従来よりも強固な事業基盤が構築できてきたことの表れではないかと感じています。

Q 当期（2020年12月期）の業績について教えてください。

A 新型コロナウイルス感染症などの影響を受けた中でも、前期比、増収増益（黒字回復）となりました。

2020年12月期の当社グループの売上高は、2019年12月期と比較して8.5%増加し、18,339百万円となりました。これは、2020年12月期に、主要国間の貿易摩擦の影響や、特に車載向けLogic製品に対する新型コロナウイルス感染症の影響による受託量の減少があった一方で、2018年後半から始まった主要顧客の車載向けLogic製品の生産調整による受託量の減少が2019年12月期第2四半期を底に回復に転じていたことや、新たなファイナルテストの受託を獲得したこと、また、新型コロナウイルス感染症による受託量の減少から回復し始めたこと、当社親会社であるPTI※からのウエハテスト事業の譲受などの寄与があったためです。

売上高の増加に加え、2020年上半期に行った先行投資による減価償却費の増加などの費用増はあったものの、その後の設備投資についての市場環境に対応した適正化や、その他費用の抑制に努めたことなどから、営業利益は429百万円、経常利益は161百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は238百万円となり、それぞれ損失であった2019年12月期から改善し、黒字回復することができました。

※PTI=Powertech Technology Inc.（所在：台湾）

PTIからのウエハテスト事業譲受

当社連結子会社であるTPWIは、2020年10月1日付で、当社親会社であるPTIからウエハテスト事業を譲り受けました。

PTIグループは、半導体製造工程における後工程の受託を主たる業務としており、一部ウエハテストの受託も行っておりましたが、ウエハテスト事業をTPWへ移管し、同事業分野に関する経営資源を当社グループに集約することで、PTIグループ全体の経営戦略に合致した役割分担の明確化と、経営コストの削減と運営効率の改善とを狙いとしています。当社グループは、事業譲受による、顧客基盤の拡充及び熟練エンジニアの増強等により、PTIグループとしての開発活動の推進やさらなる事業の拡大、新規顧客の獲得を図ってまいります。

Q 今後の方針・戦略について教えてください。

A 世界的に競争力のある製品群に対してソリューションを提供し、業績の向上を目指します。

当社グループは、お客様の、競争力のある製品分野のテストを獲得することで、売上を拡大したいと考えております。具体的には、成長分野であり、かつ高品質・高信頼性が要求される車載向け半導体の売上比率を伸ばし、中期的には、日本国内で50%、台湾にある連結子会社のTPW※で40%にすることを目標としています。車載向け以外にも、AI、5G、センサなど、当社の実績・経験を活かす分野の開拓を進めます。

そのために、当社及びTPW双方のエンジニアの手厚い支援によるお客様のグローバル化のサポート、日本及び台湾でのサプライチェーン、ターンキーの提案などを行います。また、蓄積された技術力を基にR&D活動を推進し、単にテスト受託を行うだけでなく、お客様の製品企画・開発段階から参入し、魅力のある技術提案を行いたいと考えています。それと同時に、当社グループ全体の設備や人員配置の最適化に努め、AIなどの最新技術の活用によって、オペレーションの効率化を図るなどの取り組みを継続し、業績の向上を目指します。

※TPW=TeraPower Technology Inc.（所在：台湾）

Q 株主のみなさまに向けてメッセージをお願いいたします。

ごあいさつでも述べましたとおり、おかげさまで当社は、2020年12月に上場10周年を迎えることができました。

当社グループは、2005年創業時のメモリに大きく依存していた事業ポートフォリオからの移行を目指し、Logic製品、そしてセンサの売上拡大、車載向け半導体への注力、さらに、徹底した費用削減などの取り組みを続けてまいりました。その結果、先に述べたように、事業基盤の構築に一定の成果が出たと考えております。

短期的には新型コロナウイルス感染症などの不確定要素がありますが、半導体市場は、継続的な成長が見込まれており、当社グループもさらなる成長と業績向上の機会があるものと考えております。上場以来無配が続いており心苦しい状況ではございますが、早期に配当が実施できるように努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

テラプローブのCSR



企業と社会の持続的成長を目指し、
幅広い事業活動を展開しております。

当社は「Tera Probe Code of Conduct」を基本方針として社会・環境に関する課題の解決を通じた持続的な成長の実現に取り組んでまいります。



例年、熊本県立芦北高等学校のみなさんが栽培し、地域に販売しているサラダタマネギ。新型コロナウイルス感染症の影響で従来の形での販売が難しかったことを知り、当社が一部を購入しました。

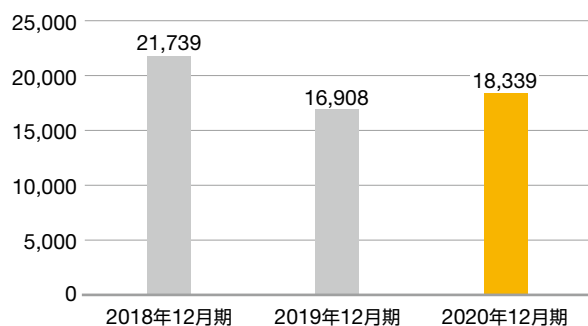


地元の中高生や先生に、身近な地域の産業を理解する教育・研修活動の一環として、当社事業の説明や、作業工程を見学できるウィンドウツアーなどを実施しています。

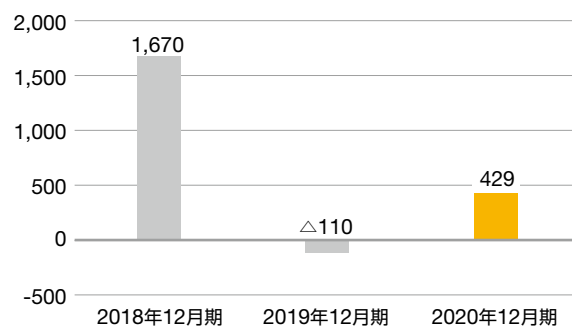
連結決算ハイライト

(単位：百万円)

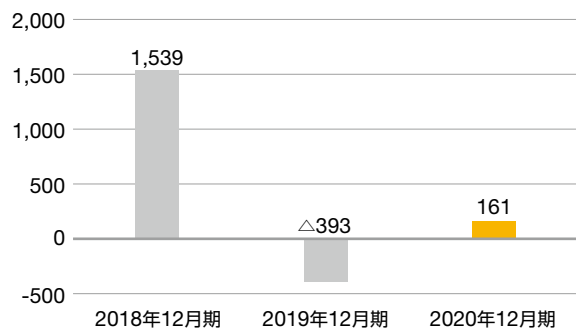
〔売上高〕



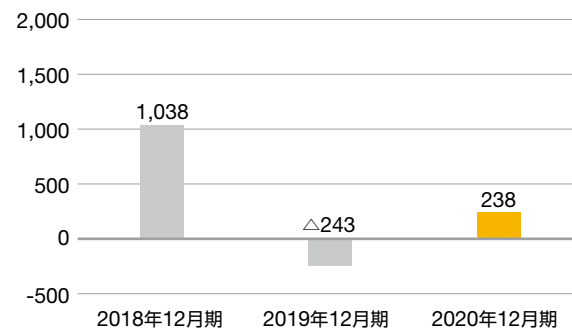
〔営業損益〕



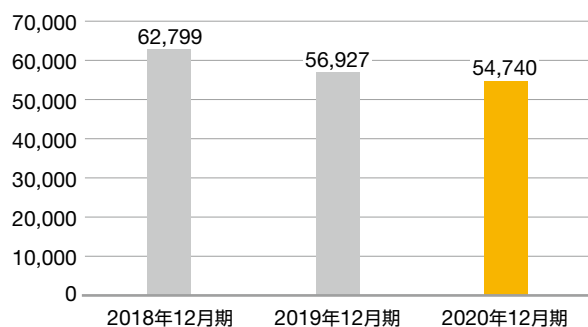
〔経常損益〕



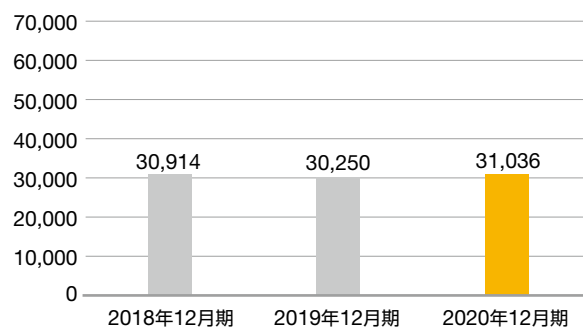
〔親会社株主に帰属する当期純損益〕



〔総資産〕



〔純資産〕





第16期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告及び決議されました

- 開催日時 2021年3月25日（木曜日）午前10時
- 開催場所 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目6番15号 新横浜グレイスホテル 4階 シャーロット
- 内 容
 - 報告事項
 - 第16期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第16期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）計算書類報告の件
 - 決議事項 議案 取締役8名選任の件



株式情報

2020年12月31日現在

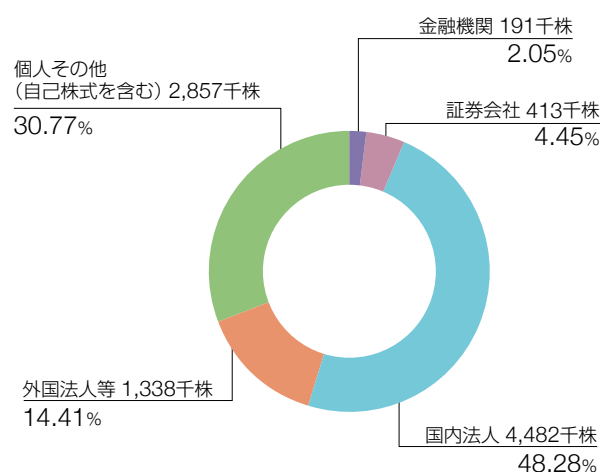
発行可能株式総数 30,000,000 株
 発行済株式総数 9,282,500 株
 株主数 3,971 名

大株主

株主名	持株数	(%)
力成科技日本合同会社	4,440,300	48.80
POWERTECH TECHNOLOGY INC.	1,077,100	11.83
時津 昭彦	397,000	4.36
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	177,000	1.94
株式会社SBI証券	161,137	1.77
岩井 雷太	101,900	1.12
日色 隆善	85,900	0.94
楽天証券株式会社	74,700	0.82
JPMBL RE CREDIT SUISSE AG, SINGAPORE BRANCH COLL EQUITY	71,400	0.78
GMOクリック証券株式会社	66,700	0.73

- (注) 1. 当社は、自己株式185,241株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 2. 持株比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 力成科技日本合同会社は、POWERTECH TECHNOLOGY INC.の完全子会社であります。

所有者別分布状況



(注) 1. 持株比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。



株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 マザーズ
 事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで
 株式の売買単位 100株
 公告方法 公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <https://www.teraprobe.com/>
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎0120-782-031
 ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/>



事業拠点

2021年3月現在



株式会社テラプローブ会津

(福島県会津若松市)
 SoC、マイコン等のテスト拠点

本社・開発センター

(神奈川県横浜市港北区)

九州事業所

(熊本県葦北郡芦北町)
 SoC、マイコン、イメージセンサ等のテスト拠点

株式会社テラプローブ

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-17
 TEL:045-476-5711
 ホームページURL <https://www.teraprobe.com/>



本誌は、FSC®認証紙と、
 植物性インキを使用しています。